



# 櫛紅葉 (はぜもみぢ)

発行：令和7年3月31日（月）（文責） 校長 田中 克三



※学校ホームページでもご覧になれます。QRコードはこちら→

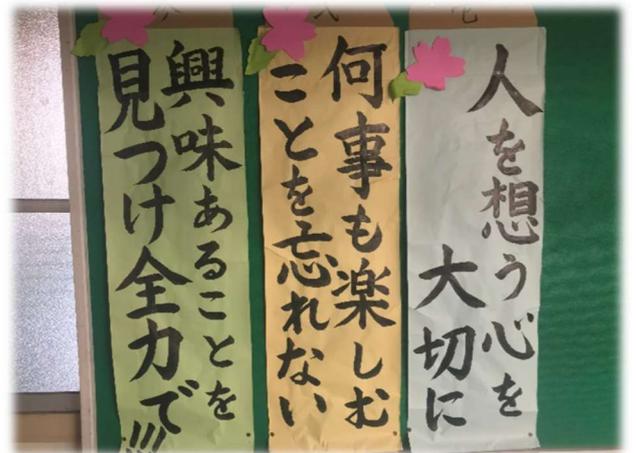
## 3年生が残してくれたメッセージ

～3/24 令和6年度修了式～



「明日の修了式何を話そうかな？」——そんなことを思いながら1年間溜まってしまった不要物を廃棄するために南棟の1階に降りたとき、誰もいなくなった3年生（卒業生）の教室の廊下に右のような手づくりの巻物が掲示されていました。

言：人を想う心を大切に  
式：何事も楽しむことを忘れない  
参：興味あることを見つけ全力で!!!



それは3月6日（木）に行われた「3年生を送る会」のラストで3年生が会を催した1・2年生にお返しに…とくれたメッセージでした。

その時は女装した男子生徒の姿やキレイのダンスに目が行き（笑）、この巻物（メッセージ）に込められた3年生の想いをあまり受けとめられていませんでした（謝）。しかし、あらためて見返してみると、卒業生が後を託す在校生によりよい中学校生活を送るための秘訣をしたためたこの3つのメッセージが、私が次年度に向かう在校生の皆さんに意識してほしいと思っていたこととかなりマッチしていて、心にストンと落ちたのでした。



【3年生を送る会】の1コマ

そこで、3月24日（月）の修了式では、この3つのメッセージを校訓である「英知・忍耐・誠実」と絡めて以下のような話をして、令和6年度を結びました。

### 興味あることを見つけ全力で!!! = 校訓：英知

→ 「英知」とは、新しいアイデアを生み出すことができる能力のことです。誰かから言われたからやるのではなく、自分から主体的に取り組めるような「興味あること」を見つけて、そこに没頭するくらいエネルギーを注いでいくそんな一年にしてほしいと思います。

### 何事も楽しむことを忘れない = 校訓：忍耐

→ 「忍耐」と言っても、単に「耐え忍ぶ」時代ではありません。自分自身が見つけた夢や目標を達成するために粘り強く努力し続けるためには、何事も楽しむことを忘れないことが大切です。どんなにキツイことが立ちまはだかろうとも、それを乗り越えた先をイメージして頑張してほしいと思います。

### 人を想う心を大切に = 校訓：誠実

→ 「誠実」とは、言葉や行動に嘘・偽りがなく、相手を思い、心がこもっていることを指します。どんなに優れた能力をもっていても、周りの人のことを考えず、独りよがりでは相手を傷つけることもあるでしょう。「人とのつながりを大切にする」…そんな素敵な中学生であってほしいと思います。

## 夢をもつことの大事さ

～3/14 1年生キャリア教育講話～

3月14日(金)、1年生の総合的な学習の時間に、今年度からの新しい取組として「キャリア教育講話」を実施しました。

今回は、コミュニティ・スクール活動の一環として、みやき町在住で、三養基ライオンズクラブ会長を務められている山内裕史氏をお招きし、「夢をもつことの大事さ」という演題で講演をしていただきました。4月には学年が1つ上がり、自分の進路について真剣に考え始める時期である1年生にとって、一つの「背中押し」となる貴重な機会となりました。



幼いころから白球を追い、高校時代には甲子園出場も果たされている山内さん。野球を通して夢をもち続け、一緒に汗を流した仲間や教えを受けた指導者との出会いを大切にしてきたことが今の立場につながっているということ、志をもち始めた1年生に対し、熱く語っていただきました。



## 中原で見る雪はこれが最後…

～3/19 ジェシカ先生お別れ～

3月19日(水)の生徒朝会で、この1年間ALTとして勤務していただいたジェシカ先生とお別れの式を行いました。ジェシカ先生は、生徒たちの英語学習の支援はもとより、毎朝校門に立ち、登校してくる生徒一人一人に明るく声をかけ、エネルギーを配る…そんな素敵な存在でした。その姿は校内だけでなく、地域の方々にも認知されておられたのではないのでしょうか。

この日は季節外れの寒波が襲い、体育館に生徒を集合させるのを躊躇するくらい冷え込んでいました。そして、朝会が進んでいくうちに雪が強まり、一気に校庭は真っ白に…。



令和6年度も本校の教育活動に御理解・御支援いただき、心より感謝申し上げます。来年度もよろしく願いいたします。

「♪ ○○で見る雪はこれが最後ねと…」——あの名曲が頭の中で流れ、寂しさでしんみりとなっていた私でしたが、その曲とは違い、ジェシカ先生は最後まで明るく、元気に振る舞い、前を向く力を与えてくださいました。

ジェシカ先生、本当にお世話になりました。



## 中原での思い出を胸に…

～3/24 令和6年度 離任式～

3月24日(月)、新聞各紙朝刊で発表があったように、今年度末の教職員人事異動があり、令和6年度修了式に引き続き、3月末に転退職する職員の離任式を行いました。

離任する職員一人一人から、在校生に向けて最後の激励の言葉があり、お返しに生徒会の代表からは、感謝の言葉と共に花束が手渡されました。



かく言う私もこの度の人事異動で、この学校を後にすることになりました。振り返れば3年間、あっという間に時は流れ、ご迷惑をおかけしてきたことばかりではなかったかと思えます。また、いざ最終日を迎えると、あれこれとやり残したことがたくさんあり、後ろ髪をひかれるとともに、申し訳ない気分ですが、本当に楽しい毎日でした。

それも支えてくださった保護者の皆様や地域の方々、職員や教育委員会、町当局の方々、そして何より素直で個性的な生徒の皆さんのおかげさまで。

中原中に関わってこられた、そして、これから関わられる全ての方々の未来がこれまで以上に充実したものになることを心からお祈り申し上げます。

本当にお世話になりました。